

## 令和7年度事業報告

令和7年度の国内経済は、米国関税措置、中国による輸出規制、中東情勢の悪化などが経済の先行きを不透明にしていたものの、AI 関連を軸に設備投資が徐々に増加するなど緩やかに回復しました。しかし、多くの中小事業者においては、人手不足や原材料費の高騰、為替の変動など、依然として厳しい状況が続いています。このような中、横浜市工業会連合会（以下、市工連）では、新規事業として外国人の採用・登用セミナーを開催するなど、各事業を実施しました。

まず、販路拡大支援のための工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ 2026」については、「横浜ものづくりゾーン」への出展促進に加え、新たに受付カウンターを設置するなど利用者や来場者の利便性の向上を図りました。

人材確保支援では、深刻さを増す人材不足に対応する取組として「外国人の採用・登用」セミナーを開催し、失敗と成功から各企業が活用できるヒントを学びました。学校と企業の「就職に関する懇談会」は、50社限定で開催し懇談時間を確保しました。

また、第38回「新入社員合同研修」を帆船日本丸において実施し、2月には新入社員フォローアップ研修を行い、人材育成に取り組みました。ものづくりへの理解を深めてもらうための出前講座と工場見学は、会員企業様のご協力で行うことができました。

施設管理については、横浜産貿ホールの天井配線更新・コンセント改修（第1期）を実施し、電気系統の老朽化に対応しました。鳥浜 T3 では10月から空室となっていた2区画について、年度末に入居者が決定しました。

### I ものづくり活性化事業

#### 1 販路拡大事業

##### (1) 商談会の開催

###### ア オール神奈川オンライン商談会 2025

日 時	9月22日（月）～10月3日（金）
主 催	公益財団法人神奈川産業振興センター
後 援	（一社）横浜市工業会連合会 他
参加社数	57社（前年度：440社※但し昨年度は六都府県オンライン商談会を実施） 発注：15社うち神奈川県内企業11社（前年度：73社／16社※） 受注：42社うち神奈川県内企業34社（前年度：367社／81社※）
商談件数	61件（前年度：400件※）
内 容	事前マッチング方式によるオンライン商談を実施

###### イ 受・発注商談会 in テクニカルショウヨコハマ 2026

日 時	令和8年2月4日（水）10：00～16：00
会 場	パシフィコ横浜2F アネックスホール
主 催	神奈川県、（公財）神奈川産業振興センター、横浜市、（一社）横浜市工業会連合会、川崎市、（公財）川崎市産業振興財団、横浜信用金庫、静岡県産業振興財団
参加者数	454社（昨年：290社） 発注：97社うち横浜市内企業17社（昨年：75社／19社） 受注：344社うち横浜市内企業53社（昨年：215社／54社）
商談件数	900件（昨年：660件）
内 容	テクニカルショウヨコハマ 2026 と同時開催

(2) 「テクニカルショウヨコハマ 2026」(第 47 回工業技術見本市)

ア 開催概要

- (ア) 開催期間 リアル展示：令和 8 年 2 月 4 日(水)～2 月 6 日(金)  
出展者 PR ページ掲載：令和 8 年 1 月 13 日(火)～2 月 27 日(金) ※
- (イ) 会場 リアル展示：パシフィコ横浜展示ホール A・B・C  
出展者 PR ページ：公式ホームページ
- (ウ) 出展規模 831 社・団体(前年度：810 社・団体)
- (エ) 入場者数 18,032 人(前年度：17,602 人)

イ 横浜ものづくりゾーンの開設

横浜市や各区が実施する中小製造業振興のための様々な施策の紹介や、その施策を活用した企業の技術を周知することを目的に、テクニカルショウヨコハマ 2026 に「横浜ものづくりゾーン」のコーナーを設け、団体として出展。

- 出展企業 92 社・団体(前年度：81 社・団体)  
(個別応募企業：25 社、メイドインつづき：29 社、横浜市販路開拓支援事業認定企業：6 社、横浜青年経営者会：11 社、LINKAI 横浜金沢 13 社、IDEC 横浜 6 社、行政関連：2 団体)

(3) 受発注商談会への参加費補助(全国ものづくり受発注相談会)

東京商工会議所他が主催する「全国ものづくり受発注相談会 2025」の受注企業として参加した会員に対して参加費の補助(1 社最大 1 万円/10 社限定)を呼びかけたものの、応募はなし。

- ア 日時 11 月 26 日(水)～27 日(木)
- イ 会場 東京ビックサイト東 6 ホール(東京都江東区有明 3-11-1)
- ウ 対象者 工業系ものづくり企業  
(発注企業：参加費無料、受注企業：商工会議所会員 3,000 円 非会員 8,000 円 / 1 商談)  
補助金交付企業 0 社

(4) 受発注相談(電話・FAX・E メール等による受発注相談)

(5) 横浜ネットワークプラス(受発注情報システム)の運営

受発注企業検索ができるシステムを運営。また、(公財)横浜企業経営支援財団のご協力のもと、製造業の発注に対する相談受付のリンクを設定。

## 2 ものづくり人材育成支援事業

(1) 新入社員合同研修

企業の新入社員を対象に、講義やグループワーク、「帆船日本丸」における実践訓練を通し、新入社員のチャレンジ精神や協調性を養い、企業の将来を託せる人材の育成を図った。

- ア 日時 4 月 3 日(木)～4 日(金) 1 泊 2 日
- イ 会場 帆船日本丸及び同訓練センター
- ウ 参加者 6 社 41 名(男性 38 名、女性 3 名)(前年度：8 社 35 名)
- エ 内容 ① 船上訓練(甲板磨き・マスト登り・船首渡り・結索訓練・カッター訓練)  
指導者：日本丸船長、航海士、乗組員
- ② 講義、グループワーク  
ビジネスマナー研修等を通し社会人としての意識を持つ  
講師：株式会社パワー・アイ 佐々木 富美子氏
- ③ 講義「社会人として最低限守らなければいけないこと」  
帆船日本丸船長 村田 信氏

(2) 新入社員フォローアップ研修

入社後を振り返り、自分の強みや課題を客観的に認識し前向きなマインドを構築するとともに、他社の同年代の人たちと交流することを目的に、新入社員フォローアップ研修を実施。

- ア 日 時 令和8年2月25日(水) 9:00~17:00  
イ 会 場 産貿ホール小展示室  
ウ 参加者 5社 17名(男性12名、女性5名)(前年度:3社 5名)  
エ 講 師 株式会社パワー・アイ 佐々木 富美子氏  
オ 内 容 ①入社後の自身の振り返り(自分の仕事の進め方の再認識)  
②入社後の職場の振り返り(仕事の問題点の克服と共有)  
③クレーム対応の実践(ビジネスマナーに基づく話し方の再認識)  
④ハイポイントインタビュー(自身の強み、課題を客観的に認識)  
⑤「信念の言葉化」、「自分なりの良い仕事」の意味づけの明確化

(3) 就職に関する懇談会の開催

高校生等の市内中小企業への就職を促進するため、県立高校等関係者と企業との就職に関する懇談会を横浜市、ハローワークとの共催で開催。

- ア 日 時 6月10日(火) 14:00~17:10  
イ 会 場 横浜産貿ホール1F マリネリア  
ウ 参加者 神奈川県立磯子工業高校等 16校 32名(前年度:18校 35名)  
会員企業等 50社 62名(前年度:49社 49名)  
懇談時間を確保するため50社限定で実施  
エ 成果についてのアンケート  
時期 令和8年1月(50社にFAX送付)  
結果 回答44社、事後接触あり132件、採用内定予定あり18社  
(前年度:事後接触あり97件、採用予定あり17件)

(4) ものづくりの魅力を伝える事業

ア 出前講座・工場見学の開催

神奈川県内の高校生及び職業技術校の訓練生に対し、企業の紹介、ものづくり産業・中小製造業の果たす役割や、中小企業が求める人材などをテーマに講座を開催、工場見学と一体で開催。

[第1回]

(ア) 実施校:神奈川県立東部総合職業技術校(横浜市鶴見区寛政町28-2)

(イ) 開催日:5月28日(水) 9:55~12:00

(ウ) 参加者:33名

チャレンジプロダクトコース、セレクトプロダクトコース、CDA/CAMものづくりコースの受講生23名及び担当教員4名、  
横浜市3名、事務局3名

(エ) 見学先工場及び講師

株式会社佐々木鉄工所 代表取締役 佐々木 英力 氏

取締役 佐々木 麻乃 氏、設計部主任 清水 勇 氏

(カ) 事業内容:大型機械加工、溶接・製缶の技術で大型金属構造物の一部を製造

[第2回]

(ア) 実施校:神奈川県立横須賀南高校(横須賀市佐原4-20-1)

(イ) 開催日:9月25日(木) 10:00~11:45

(ウ) 参加者:30名

神奈川県立横須賀南高校(就職希望の1年生)21名、教諭2名、  
横浜市4名、市工連3名

- (エ) 見学先：日本貿易印刷株式会社（戸塚区上矢部町 1968）
- (オ) 講師：代表取締役社長 宮崎 亮太郎 氏 他
- (カ) 事業内容：ガソリンスタンドの給油伝票等の印刷、キャッシュカードや保険証の発行等

[第3回]

(ア) 実施校：神奈川県立東部総合職業技術校（横浜市鶴見区寛政町 28-2）

(イ) 開催日：11月26日（水）10：00～12：00

(ウ) 参加者：26名

CDA/CAM ものづくりコース 4名、チャレンジプロダクトコース 10名、  
セレクトプロダクトコース 2名、引率 3名 計 19名  
横浜市 4名、市工連 3名 合計 26名

(エ) 見学先：三宝精機工業株式会社（横浜市戸塚区舞岡町 405）

(オ) 講師：代表取締役 金子 一彦氏

(カ) 事業内容：工作機械のオーバーホール、修理メンテナンス 等

イ テクニカルショウヨコハマ内横浜ものづくりゾーン見学会の開催【中止】

ものづくりや製造業に対する理解を深めるため、工業高校の生徒を対象に中小企業経営者による講演及び展示会の見学を予定していたが、高校がインフルエンザによる学級閉鎖となり中止。

(ア) 実施校：神奈川県立磯子工業高校（磯子区森 5 丁目 24-1）

(イ) 開催日：令和 8 年 2 月 4 日（水）13：00～15：30

(ウ) 参加者：63名（機械科 1 年生）引率 4名

横浜市 7名、市工連 2名 合計 76名

(エ) 経緯：高校からテクニカルショウの見学と講演会の依頼があり、講演会の講師 2 名とグループ見学で質疑応答させていただく先として横浜ものづくりゾーンの出展者に協力を依頼。

(5) 技術者育成支援事業

中小製造業者がその従業員に、技術水準の向上、技能・技術の承継を推進し、中小製造業者における人材確保及び人材育成に資することを目的として、業務上必要な技能検定資格取得のための受検料、受検対策で受講した講習会等の費用を助成。

補助金交付企業 5 社

(6) PR 動画作成支援事業

中小企業における人材確保を目的として、若者に対する製造業等の理解を深める PR 動画を通じ製造業等への若者の就職を促進するため、動画制作費用の一部を助成。

また、制作した動画は市工連のホームページ上に企業 PR として掲載。

補助金交付企業 1 社

(7) セミナーの開催

各産業とも人材不足が大きな経営課題となっている中、技能実習生を受け入れてきた事業者が増加する一方、人材不足解消や新たな事業展開の妙手にまでは至っていない状況が続いている。また、昨年、入管法が改正され技能実習制度に代わり、外国人労働者の育成や人材確保を目的とする「育成就労制度」が創設された状況を踏まえ、会員を対象とした外国人材登用セミナーを実施。



### 3 地域工業会・事業会の活動支援

11 の地域工業会・事業会に対し、広報謝金・特例協力金・広報活動等補助金として計 16 万円と、合わせて会員数に応じて市工連協力謝金を助成。

### 4 横浜青年経営者会の活動支援

横浜青年経営者会への助成金として 20 万円、青経会大会運営に 10 万円を交付。

### 5 情報発信事業

#### (1) インターネットを活用した情報提供

ア ホームページの運営

イ メールマガジン「市工連ニュース」の配信

24 回配信（4 月 1 日第 558 号～令和 8 年 3 月 16 日第 581 号）※臨時号 2 回

配信先 工業会会員等約 1,900 件

#### (2) 機関誌等の発行

ア 機関誌「よこはま市工連」の発行

年間 2 回発行

7 月（第 92 号）2,000 部 / 令和 8 年 2 月（第 93 号）2,200 部

イ 情報紙「市工連かわらばん」の発行

年間 6 回発行 各回 2,000 部配布

5 月（第 212 号）から令和 8 年 3 月（第 217 号）まで奇数月発行

#### (3) 一斉ファックス及びメールマガジンでの情報発信

全会員への周知のために、一斉ファックスやメールマガジンにより情報を提供。

### 6 すぐれたアイデア提案者表彰

各企業において、技術開発、生産性の向上、経費節減等で「すぐれたアイデア」を提案し、企業の発展に貢献した従業員を表彰。

被表彰者 4 社 5 件/6 名（9 ページ「別表」のとおり）

### 7 会員企業の交流

会員企業同士の情報交換・交流の機会創出のために、施設見学会及び懇親会を実施。

また、地域工業会の枠を超えて委員会委員の交流を図るため、懇親会も実施。

環状南線工事現場の視察会の開催

日 時： 11 月 20 日（木）13：15～17：30

場 所： 横浜環状南線工事現場

参加者： 25 名

内 容： 栄 IC・JCT（仮称）、公田 IC（仮称）、公田笠間トンネル、桂台トンネル工事用道路、釜利谷庄戸トンネルを見学

### 8 会員サービス事業

「災害共済」等、会員企業や従事者向け各種福利厚生事業や会員サービスの向上につながる団体割引等の取りまとめを実施。

また、本会独自の PL 保険の加入を促進。

## IV 法人運営

総会、理事会、委員会等の開催は次の通り。

1 総会、理事会、委員会等

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
4月14日 (月)	第1回 広報・産学 委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「よこはま市工連（第92号）」について</li> <li>・広報関係の実績について</li> <li>・ホームページについて</li> <li>・その他</li> </ul>	産業貿易センタービル 小展示室
4月22日 (火)	第1回 政策委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度横浜市に対する予算要望の回答について</li> <li>・令和8年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書の策定について</li> </ul>	シルクセンター 小会議室
6月2日 (月)	第1回 事業企画・ 雇用環境 合同委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度事業について（報告）</li> <li>・令和7年度施設見学について</li> <li>・外国人材活用について（2名の講演） 他</li> </ul>	産業貿易センタービル 小展示室
6月6日 (金)	第1回 総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度第1回理事会・定時総会の議案について</li> <li>・令和7年度第2回理事会の議案について</li> </ul>	産業貿易センタービル 小展示室
6月25日 (水)	第1回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度事業報告</li> <li>・令和6年度決算報告</li> <li>・理事の選任</li> </ul>	ロイヤルホール 横浜
6月25日 (水)	総会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度事業報告</li> <li>・令和6年度決算報告</li> <li>・理事の選任</li> </ul>	ロイヤルホール 横浜
6月25日 (水)	第2回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副会長及び専務理事の選定</li> <li>・令和7年度市工連委員会の委員</li> </ul>	ロイヤルホール 横浜
8月4、5日 8月22日	施策検討会 グループ会 全体会	地域工業会委員15人、政策委員6人、横浜市4人、IDEC3人（実人数）	シルクセンター 大会議室
9月18日 (木)	第2回 政策委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度施策検討会の報告について</li> <li>・令和8年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望について</li> <li>・その他</li> </ul>	産業貿易センタービル 小展示室
11月4日 (火)	第2回 広報・産学 委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「よこはま市工連（第93号）」について</li> <li>・広報関係の実績について</li> <li>・その他</li> </ul>	産業貿易センタービル 小展示室
11月5日 (水)	第2回 事業・企画 委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産貿センター利用料について</li> <li>・その他</li> </ul>	産業貿易センタービル 小展示室
11月25日 (火)	臨時理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産貿センター利用料について</li> <li>・その他</li> </ul>	産業貿易センタービル 小展示室

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
2月16日 (月)	第3回 事業・企画 委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度事業について</li> <li>・令和8年度事業について</li> <li>・その他</li> </ul>	シルクセンター 小会議室
3月9日 (月)	第2回 総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度第3回理事会・総会に諮る議案の 確認</li> <li>・その他</li> </ul>	シルクセンター 小会議室
3月25日 (水)	総会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年度事業計画（案）について</li> <li>・令和8年度予算（案）について</li> <li>・その他</li> </ul>	産業貿易センタ ービル 8階会議室
3月25日 (水)	第3回 理事会		

### 3 地域工業会・事業会 事務局長会議

年間10回開催し（4月15日、5月20日、6月17日、7月15日、9月16日、10月21日、11月18日、12月16日、2月17日、3月17日）、事業説明や情報共有を実施。

## 別表

第42回すぐれたアイデア提案者表彰  
被表彰者とアイデア

(会社名 50音順・敬称略)

(4社 5件/6名)

No	企業名	所属 氏名	アイデアの名称 成果
1	荒木工業 株式会社	工場次長  手賀 司	<b>ガス抜き容器用キャップの開発</b> 中栓本体に空気抜き用の穴を設けるとともに、通気性材料により液漏れを防ぐ効果もある農薬ボトルの「ガス抜き容器用キャップ」を開発し、安全な製品を市場に提供したものである。
2	海洋電子工業 株式会社	技術部設計2課  角谷 暁	<b>目標情報用XMLファイル 自動生成ソフトウェアの作成</b> 諸元情報が記述されたテキストファイルからXMLファイルを生成するソフトウェアを作成し、複数の目標情報を一つのテキストファイルに一覧として記述することにより、ソフトウェア作成の時間を大幅に短縮し、諸元情報の誤りに気づきやすくなることができた。
3	海洋電子工業 株式会社	第1整備部整備1課  野村 勇介 吉良 千亜季	<b>衛星通信装置 駆動架台の分解・組立作業における専用治具制作による改善と効率化</b> 衛星通信装置の機構部位の分解・組立作業において、専用治具を考案・制作し活用することで、作業を標準化し、誰でも安全かつ確実に実施できる改善を提案し、省力化と安全性の向上を実現した。
4	竹澤工業 株式会社	製造・工務グループ  富岡 慶	<b>コマ製作によるプレス機送り調整作業の効率化</b> 熱交換器の製作過程であるプレス工程の「送りの調整」作業において、上下動の幅を「コマ」をつけて固定化することで、人為的な工数を削減した。また、品質面においても誤差が解消されスキの寸法が安定化し、安全面においてもけがのリスクを回避できる効果をもたらした。
5	株式会社 吉岡精工	技術部  東城 有起	<b>HoVaC(ホバック)ポーラスチャックの無機接合工法の開発</b> 無機接合工法の開発により、今後の新規顧客市場開拓に大きく寄与することが見込まれる。また、セラミック材料やその製造方法といった新しい知識の習得にも役立った。